

平成23年度事業報告

1. 調査研究業務

(1) 自主研究

1) ウォーターフロント研究サロン

ウォーターフロント研究サロンとして、毎月1回、当協会事務所にて、知見ある講師による幅広いテーマでの講演及び討議を行った。

講演内容については、メールマガジン「WFニュース」で随時報告し、主要テーマについては「ウォーターフロント研究レポート」として発行した。

- 第29回 『海峡をつなぐ夢 ポスポラス海峡横断鉄道トンネル』 (H. 23. 4. 6)
大成建設株式会社 調達本部 第二調達部長 小山 文男
- 第30回 『硫黄島 絶海の孤島 玉砕の痕跡を求めて』 (H23. 7. 6)
大應株式会社 取締役社長 初芝 成應
- 第31回 『馬のはなし』 (H23. 8. 10)
財団法人国際臨海開発研究センター 調査役 館野 美久
- 第32回 『貝殻利用技術 JF シェルナースの効果について』 (H23. 9. 6)
海洋建設株式会社 専務取締役 片山 真基
- 第33回 『海外港湾開発プロジェクトにおける官民連携の動向』 (H. 23. 10. 3)
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
GC 事業部 港湾開発部 プロジェクト部長 鈴木 雅人
- 第34回 『旧街道を歩いて』 (H23. 11. 7)
「歴史街道を歩いてみよう『江戸五街道』旅日記」著者 八尋 章文
- 第35回 『健康に働こう』 (H. 23. 12. 5)
NPO 法人 海ロマン21 理事長 久田 安夫
- 第36回 『北ヨーロッパの港湾都市を巡って』 (H. 24. 1. 12)
社団法人ウォーターフロント開発協会 会長 川崎 裕康
- 第37回 『禅のこころ』 (H. 24. 2. 6)
臨済宗妙心寺派 龍源寺 住職 松原 信樹
- 如月特別 『沖縄の港に期待する』 (H. 24. 2. 14)
元 日本郵船株式会社 副社長 平野 裕司
- 第38回 『ディズニーランドに学ぶ集客マーケティング』 (H. 24. 3. 8)
株式会社バス・コーポレーション 代表取締役 小熊 俊行

(2) 受託調査

次の2件を受託し調査を行った。

1) 「港湾における民間施設整備に係る検証調査業務」

(国土交通省港湾局)

国土交通省では、国土交通省成長戦略を踏まえ、インフラの管理・運営に積極的に民間の視点を導入することとしている。

今後民間のノウハウの活用及び市民・NPO等の企画提案による「みなとまちづくり」をはじめとした港湾関係民間プロジェクトの推進を図るため、民間都市開発推進機構により、これまでの実施を踏まえた知見を、体系的に整理し、今後の港湾関係民間プロジェクトの施策推進方策を検討する。

2) 「平成23年度みなと振興に関するデータ収集整理」

(国土交通省中部地方整備局)

中部地方整備局管内における次のデータ等について収集整理する。

- ①観光資源、産業活動に関わる事例
- ②世界に誇れる港湾関連データ
- ③みなと振興への貢献状況

2. 振興支援業務

(1) ウォーターフロント振興支援事業成果報告会の実施

・日 時 : 平成23年6月2日(木) 10:00~12:00

・場 所 : ホテル アジュール竹芝 16階 憩の間

東京都港区海岸1丁目11番2号

平成22年度に実施されたウォーターフロント振興支援事業6港6事業の報告がなされ、意見交換がおこなわれた。また、ウォーターフロント振興支援事業選定委員の講評をもらった。

1) 「みなとオアシス大洗 みなと体験ツアーin大洗2010」

茨城県 大洗町 まちづくり推進課 海老澤 督

2) 「稚魚放流体験イベント」

財団法人 横浜港埠頭公社 総務課長 近藤 隆

3) 「第7回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム」

都市環境ゼミナール 会長 伊藤 達雄

4) 「中学生親善魚釣り大会」

社団法人全国釣り団体協議会 事務局長 木村 陽輔

5) 「ベイサイドビーチ活性化事業」

株式会社 ひろしま港湾管理センター ポートカンパニー管理チーム 苫米地 聖

6) 「別府ポートフェスタ 2010」

別府国際観光港みなとまちづくり協議会 会長 奥村 伸幸

(2) 平成24年度「ウォーターフロント振興支援事業」の決定

平成24年1月に開催された選定委員会の選考に基づき、次の2件を決定した。

1) 伏木富山港

新港大橋開通イベント行事

申請者 射水市

2) 敦賀港

敦賀ーウラジオストック間定期航路110周年記念

港と鉄道のシンポジウム

申請者 敦賀市

決定に先立ちウォーターフロント振興支援事業選定委員会が開催された。

- ・日 時：平成24年1月26日（金） 13：30～15：00
- ・場 所：社団法人ウォーターフロント開発協会 東京都港区芝浦3-11-9
- ・委 員： (五十音順、敬称略)
 - 佐藤 成美 財団法人横浜港埠頭公社 専務理事（委員長）
 - 佐藤 浩孝 株式会社NIPPO 執行役員
 - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 振興課長
 - (代理) 小澤 康彦 振興課 課長補佐
 - 原 重一 原重一観光研究所 主宰
 - 廻 洋子 淑徳大学 国際コミュニケーション学部 教授
 - 横内 憲久 日本大学 理工学部 建築学科 教授

(3) 「みなとまちづくり研究会」及び「ウォーターフロントフォーラム」の開催

〔第7回研究会〕

- ・日 時 : 平成23年6月1日(水) 15:00~16:00
- ・場 所 : 第1部 ホテル アジュール竹芝 14階 天平の間
東京都港区海岸1丁目11番2号
第2部 ヴァンティアン号リヴァージュ(Bデッキ)

第1部 講演(創立20周年記念特別講演)

「我が国のウォーターフロント開発の歩みを振り返って」

講師: 社団法人ウォーターフロント開発協会 顧問 栢原 英郎

第2部 船上交流会

海からのウォーターフロント見学と東日本大震災の被災地を思い、災害に強く魅力あるウォーターフロントづくりについて意見交換

〔第8回研究会〕(第25回ウォーターフロントフォーラム in 神戸)

- ・日 時 : 平成23年11月11日(金) 12日(土)
- ・場 所 : 神戸波止場町TEN×TEN
神戸市中央区波止場町 6-5

11月11日(金)

第1部 第3回みなとオアシス全国協議会総会

参加オアシス 47(内委任 22)/会員オアシス 52

第1号議案 平成22年度事業報告について

第2号議案 平成23年度事業計画について

第3号議案 役員改選について

報告事項 次期総会開催地について

第2回みなとオアシス Sea級グルメ全国大会の開催について

第2部 みなとオアシスの集い

- ・マリンポートツーリズム提唱

NPO 法人神戸グランドアンカー 理事長 村上 和子

- ・基調講演 マリンポートツーリズム提唱によせて

「海洋日本の観光戦略～平清盛が夢見た港の繁栄」

講師：神戸大学名誉教授 神木 哲男

・リレートーク&ディスカッション

「みなとオアシス活動発表」12団体 コーディネーター：神木 哲男

第3部 交流会

11月12日(土)

・みなと周辺ぐるっとウォッチング

・海からの神戸 (港内クルーズ船 ロイヤルプリンセス)

案内：みなとまちづくりマイスター 森田 潔

(4) ウォーターフロント環境研究会

汚濁防止膜再利用カーテンの強度証明システムについて研究会を設け、研究を進めている。

「汚濁防止膜再利用カーテン強度証明基準作成検討委員会」

・日時：平成23年6月27日(月)13時～15時

・場所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸1-11-2

・委員： (敬称略)

新井 洋一 NPO法人リサイクルソリューション 理事長(委員長)

出口 一郎 大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 教授

平石 哲也 京都大学防災研究所 流域災害研究センター

沿岸域土砂環境研究領域 教授

長尾 毅 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部

港湾施設研究室長

寺内 潔 社団法人日本埋立浚渫協会 第一調査研究部長

加藤 利弘 国土交通省 港湾局 技術企画課 課長補佐

櫻井日出伸 国土交通省 港湾局 技術企画課 計画係長

柳沢 雄博 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

港湾整備・補償課長

山形 治宏 東京都 港湾局 港湾整備部 技術管理課長

(5) 「みなとオアシス全国協議会」事務局の運営

- 1) 総 会 平成 23 年 11 月 11 日 (金) 於神戸波止場町 TEN×TEN
- 2) 理事会 平成 23 年 11 月 11 日 (金) 於神戸波止場町 TEN×TEN
- 3) その他
 - ・メールマガジン「みなとオアシス便り」を毎月 1 回配信
 - ・「港弁」と「Sea 級グルメ」の展開
 - なお、今後みなとオアシス Sea グルメ全国大会は、みなとオアシス全国協議会の行事として開催することと理事会で決定された。

(6) 「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」事務局の運営

- 1) 総 会 平成 23 年 6 月 16 日 (金) 大和ミュージアム
- 2) 役員会 平成 24 年 2 月 17 日 (金) 社団法人ウォーターフロント開発協会
- 3) 企画委員会
 - 第 1 回 平成 23 年 7 月 21 日 (木) 社団法人ウォーターフロント開発協会
 - 第 2 回 平成 23 年 10 月 13 日 (木) 社団法人ウォーターフロント開発協会
 - 第 3 回 平成 24 年 3 月 9 日 (金) 社団法人ウォーターフロント開発協会
- 4) 主な事業
 - ・会報 No. 7 発行
 - ・メールマガジン「みなとの博物館情報」を平成 22 年 9 月より毎月 1 回配信
 - ・助成事業 平成 23 年 12 月 16 日 (金) 助成事業審査委員会において平成 24 年度の助成館 5 館と助成金額を決定
 - ・スキルアップ交流会
 - 平成 24 年 3 月 15 日 (木) ～16 日 (金) 『福井県立恐竜博物館』で実施
 - ・ポスターの作成・配布
- 5) その他
 - ・平成 23 年 10 月新ホームページがオープン。
 - <http://www.waterfront.or.jp/portmuseum/>
 - ・新企画として「今月の逸品」を開始。ホームページとメールマガジンに掲載。
 - vol. 1 東京みなと館 「慶長小判」 (平成 23 年 11 月)
 - vol. 2 船の科学館 「南極観測船“宗谷”」 (平成 23 年 12 月)
 - vol. 3 日本郵船歴史博物館 「伏見丸銀製模型 (1/400)」
(平成 24 年 1 月)
 - vol. 4 横浜みなと博物館 「新港ふ頭返還記念の鍵」(平成 24 年 2 月)
 - vol. 5 フェルケール博物館 「缶詰記念館建物」 (平成 24 年 3 月)

(7) 国への要望

当協会の活動への支援等について、国土交通省に対し2回に分けて要望活動を行った。

1) 第1回目

・日時：平成23年9月26日

・要望先：国土交通省港湾局

福田 功 大臣官房技術参事官

田邊 俊郎 振興課長

池上 正春 国際・環境課長

・要望内容：

- ・みなとまちづくりに関する活動への支援
- ・官民の適切な役割分担に基づく官民連携事業の推進
- ・ウォーターフロントの復旧・復興に係る支援
- ・みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

2) 第2回目

・日時：平成23年11月18日

・要望先：国土交通省港湾局

福田 功 大臣官房技術参事官

大脇 崇 技術企画課長

・要望内容：「汚濁防止膜再利用カーテン強度証明制度」の創設について

3. 啓発普及業務

(1) 平成23年度『みなとまちづくりマイスター』の認定

「選定委員会」にて選定された次の5名を平成23年7月18日「海の日」付けて認定した。

なお、認定された『みなとまちづくりマイスター』については、「ウォーターフロント開発 NO.29」にて紹介を行った。

町田 直子 NPO 法人 ACTY 理事長 (八戸港)

小積 君生 みなとオアシスただのうみ協議会 会長 (忠海港)

西内 三悟 まちづくりアクションプラン協議会 前会長 (宇多津港)

永木 三茂 関門港ボート天国推進協議会 作業部会部会長 (北九州港)

奥村 伸幸 別府国際観光港みなとまちづくり協議会 会長 (別府港)

※今回の認定により、全国の『みなとまちづくりマイスター』は総計31名となった。

『みなとまちづくりマイスター』選定委員会

・日時：平成23年7月8日(金) 14:00~15:30

- ・場 所： 社団法人ウォーターフロント開発協会 東京都港区芝浦 3-11-9
- ・委 員： (五十音順、敬称略)
 - 佐藤 浩孝 株式会社 NIPPO 執行役員
 - 田邊 俊郎 国土交通省 港湾局 振興課長
 - (代理) 木村 俊介 振興課 課長補佐
 - 原 重一 原重一観光研究所 主宰
 - 廻 洋子 淑徳大学 国際コミュニケーション学部 教授
 - 山下 智久 日本政策投資銀行 地域振興グループ 次長
 - 横内 憲久 日本大学 理工学部 建築学科 教授 (委員長)

なお『みなとまちづくりマイスター』5名は、8月4日、国土交通省港湾局長より表彰された。

(2) 『みなとまちづくりマイスター』認定記念シンポジウム

これまでに認定された『みなとまちづくりマイスター』の相互交流・意見交換・情報発信のため、全国交流会を行った。

なお、交流会の内容は、メルマガ「みなとまちづくり通信」(No.65～No.66)にて配信すると共に、「ウォーターフロント開発 NO. 29」にて報告した。

- ・日 時 平成23年8月4日(木) 16:00～17:30
- ・場 所 ホテル アジュール竹芝 14階 天平の間
東京都港区海岸1丁目11番2号

～みなとまちづくりマイスター 全国交流会～
テーマ「これからのみなとまちづくり」

○ パネラー

- | | | | |
|--------|------|-----------------------|------------|
| 町田 直子 | 八戸港 | NPO 法人ACTY | 理事長 |
| 中川 庄嗣 | 衣浦港 | 市民ボランティア団体 | 渡し場かもめ会 会長 |
| 田村 伴次 | 名古屋港 | NPO 法人伊勢湾フォーラム | 相談役 |
| 村上 和子 | 神戸港 | NPO 法人神戸グランドアンカー | 理事長 |
| 小積 君生 | 忠海港 | みなとオアシスただのうみ協議会 | 会長 |
| 西内 三悟 | 宇多津港 | まちづくりアクションプラン協議会 | 前会長 |
| 谷本 典量央 | 八幡浜港 | 八幡浜港みなとまちづくり協議会 | 会長 |
| 永木 三茂 | 北九州港 | 関門港ポート天国推進協議会作業部会 | 部会長 |
| 大谷 鮎子 | 博多港 | NPO 法人九州キラキラみなとネットワーク | 理事長 |
| 奥村 伸幸 | 別府港 | 別府国際観光港みなとまちづくり協議会 | 会長 |

○ コーディネーター

橋間 元徳 社団法人ウォーターフロント開発協会 専務理事

(3) メールマガジンの配信

1) 『WFニュース』

協会創設以来、平成 24 年 3 月までに 260 号を配信。平成 20 年 10 月第 221 号よりメールマガジンとして内容も一新、毎月 1 回配信している。

2) 『みなとまちづくり通信』

平成 20 年 7 月海の日にメールマガジンとして創刊号を配信、その後毎月 2 回のペースで配信し、平成 24 年 1 月から毎月 1 回配信している。平成 24 年 3 月までに 75 号を配信。

3) 『みなとオアシス便り』

平成 21 年 7 月海の日にメールマガジンとして創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成 24 年 3 月までに 30 号を配信。

4) 『みなとの博物館情報』

平成 22 年 9 月に創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成 24 年 3 月までに 19 号を配信。

(4) 機関誌の発行

ウォーターフロント開発に関する情報交換の促進を目的として、平成 23 年 12 月に機関誌「ウォーターフロント開発 NO.29 創立 20 周年記念号」を発行し、会員及び国の行政機関等に配布した。

(5) 出版事業の展開

1) ウォーターフロント研究レポート 2011 Autumn

vol.10 「シドニーのウォーターフロント」

日本大学 教授 新井 洋一

vol.11 「UAE、最近の開発・建設市場について」

りんかい日産建設株式会社 国際支店土木部 部長 松田 信行

Vol. 12 「日本の野鳥世界」

五洋建設株式会社 土木部門 顧問 江頭 素樹

vol. 13 「海と人と生物のネットワークを広げる」

東亜建設工業株式会社 技術研究開発センター 田中 ゆう子

vol. 14 「オーストラリアの港湾について」

和歌山県 県土整備部 港湾整備課 課長 黒川 和浩

vol. 15 「東京の水運活用例と今後について」

三井不動産株式会社 S&E 総合研究所 専門役 山本 淳一

vol. 16 「我が国のウォーターフロント開発の歩みを振り返って」

社団法人ウォーターフロント開発協会 顧問 栢原 英郎

vol. 17 「港における賑わいの創出に関する考察と提案」

五洋建設株式会社 土木部門土木企画部 部長 前田 泰芳

2) ウォーターフロント研究レポート 2012 Spring

vol. 18 「新しい漂砂制御技術」

若築建設株式会社 技術建設部 土屋 洋

vol. 19 「人はパンだけでは生きられない― 60才からの人間学 ―」

社団法人海洋調査協会 第二技術部長 高見 之孝

vol. 20 「みなとまち再生プロジェクト」

立教大学・東京工業大学 兼任講師 大下 茂

vol. 21 「これからの健康な人生のためのウォーキング」

大旺新洋株式会社 顧問 道厘 清

vol. 22 「欧州における港町の歴史と文化」

社団法人ウォーターフロント開発協会 会長 川崎 裕康

vol. 23 「海峡をつなぐ夢 ポスポラス海峡横断鉄道トンネル」

大成建設株式会社 調達本部 第二調達部長 小山 文男

vol. 24 「蝶から学ぶ生物多様性社会」

株式会社ガイアート T・K 常務執行役員 和田 信

vol. 25 「硫黄島 絶海の孤島 玉砕の痕跡を求めて」

大應株式会社 取締役社長 初芝 成應

vol. 26 「禅のこころ」

臨済宗妙心寺派 龍源寺 住職 松原 信樹

(6) クルーザーヨット「ユーホリアン」体験乗船

昨年一年間の体験乗船は18名。東日本大震災の影響か乗船体験者が減少した。船の操船・メンテナンス等にボランティアクルー9名で対応。随時メルマガで支援の協力をお願いしている。

「ユーホリアン」命名20周年記念祝賀会

・日 時 平成23年6月26日 11:00~15:00

・場 所 横浜ベイサイドマリーナ (横浜市金沢区白帆町1番地)

命名者 坂井順行氏を偲び、体験乗船者、ボランティアクルー及び関係者により「命名20周年」を祝った。また、支援者及び関係者に記念誌「ユーホリアンに魅せられて」とCDを配布した。

(7) 商品・企画・アイデアの紹介

豊かなウォーターフロント形成のため、会員が有する商品・企画・アイデアを当協会ホームページにて紹介を始めた。現在4社から4アイテムを紹介している。

4. 情報収集業務

(1) 海外のウォーターフロント開発事例に関する情報収集

平成23年度は、海外事例として、米国コネチカット州の環境保全局とグリニッジ市の都市計画委員会が共同で行ったウォーターフロントへのパブリックアクセス改善に関する調査について情報を収集し、機関誌「ウォーターフロント開発 No. 29」にて報告を行った。

(2) 平成23年度ウォーターフロント開発状況海外調査

この調査は、一般財団法人みなと総合研究財団と建設コンサルタンツ協会を中心とした調査に、当協会の川崎会長が副団長として参加した。

目 的 北ヨーロッパの港湾と港町

日 程 平成23年8月22日~9月1日の11日間

訪問地 北欧の港湾都市 (サンクトペテルブルグ ヘルシンキ ストックホルム ヨーテボリー コペンハーゲン ハンブルグ ブレーマーハーフェン ブレーメン)

資 料 当協会機関誌「ウォーターフロント開発」NO. 29に報告を掲載。